

(速報情報)

(平成30年8月1日18時発表)

主な船舶海難(7月31日)

海上保安庁交通部安全対策課

番号	海難発生日時	海難発生場所	船舶種類	国籍	長さ(m)	トン数(t)	概要	乗船者数	死者・行方不明者数
1	7月31日 09:00頃	山形県鶴岡市沖	プレジャーボート	日本	6.27	-	釣り中の船内への浸水	4	0
2	7月31日 22:16頃 (情報入手時刻)	島根県松江市沖	漁船	日本	4.65	-	無人の船体の発見	1	0

※速報情報のため、今後の調査により内容が変わる場合があります。

※死者・行方不明者は、船舶海難によって発生した人数です。

※調査中の事項は「-」で表示しています。

問合せ先:安全対策課 首席海難調査官 大下

03-3591-6361(内線6501)

03-3591-9736/03-3591-9566(夜間直通・土日・休日)

★安全運航のポイント

無人の漁船が漂流する事故が発生しています。

付近海域を捜索していたところ、陸上において船長が無事発見されました。

連絡手段が確保できていれば、早期発見に繋がった可能性もあり、海に出る際は、携帯電話を防水パックに入れて携帯するなど、常に連絡手段を確保し、家族や漁協などに対して定期的に連絡をするよう努めましょう。

「自己救命策3つの基本」

<https://www6.kaiho.mlit.go.jp/info/marinesafety/jikotaisaku/kihon.html>

(速報情報)

(平成30年7月31日18時発表)

主な船舶海難(7月30日)

海上保安庁交通部安全対策課

番号	海難発生日時		海難発生場所	船舶種類	国籍	長さ(m)	トン数(t)	概要	乗船者数	死者・行方不明者数
1	7月30日	16:00頃 (情報入手時刻)	熊本県長洲町沖	プレジャーボート (ゴムボート)	日本	約2.5	-	釣り中に浅瀬に乗揚	3	0

※速報情報のため、今後の調査により内容が変わる場合があります。

※死者・行方不明者は、船舶海難によって発生した人数です。

※調査中の事項は「-」で表示しています。

問合せ先:安全対策課 首席海難調査官 大下

03-3591-6361(内線6501)

03-3591-9736/03-3591-9566(夜間直通・土日・休日)

★安全運航のポイント

ゴムボートから釣りをしていたところ、干潮による乗揚事故が発生しています。

乗揚事故の原因の多くは、「水路調査不十分」によるものです。

事故を防止するため、発航前には目的地の水深や潮汐を確認(事前の水路調査)し、安全に航行しましょう。

「衝突・乗揚事故に注意」

https://www6.kaiho.mlit.go.jp/info/keihatsu/20180427_noriage.pdf

「海の安全情報」(スマートフォン用サイト)

<https://www6.kaiho.mlit.go.jp/sp/index.html>

(速報情報)

(平成30年7月30日17時発表)

主な船舶海難(7月27～30日)

海上保安庁交通部安全対策課

番号	海難発生日時		海難発生場所	船舶種類	国籍	長さ(m)	トン数(t)	概要	乗船者数	死者・行方不明者数
1	7月27日	09:05頃 (情報入手時刻)	青森県風間浦村沖	漁船	日本	11	4.9	操船者の死亡による漂流	1	1
2	7月27日	13:36頃 (情報入手時刻)	島根県大田市沖	漁船	日本	-	2.6	操船者の海中転落による乗揚	1	1
3	7月27日	13:59頃 (情報入手時刻)	広島県広島市沖	プレジャーボート	日本	-	-	航行中、浅瀬に乗揚	3	0
4	7月28日	06:00頃 (情報入手時刻)	福岡県大牟田市沖	漁船	日本	12	4.3	操業中、プロペラに漁網が絡索	2	0
5	7月28日	13:45頃	愛媛県新居浜市沖	プレジャーボート (ミニボート)	日本	2.9	-	機関故障による運航不能	2	0
6	7月28日	14:00頃 (情報入手時刻)	鹿児島県鹿児島市沖	旅客船	日本	56.1	1,240	航行中、岸壁に衝突	178	0
7	7月29日	10:30頃	熊本県天草市沖	プレジャーボート (ヨット)	日本	9.95	9.73	航行中、浅瀬に乗揚	3	0

※速報情報のため、今後の調査により内容が変わる場合があります。

※死者・行方不明者は、船舶海難によって発生した人数です。

※調査中の事項は「—」で表示しています。

問合せ先:安全対策課 首席海難調査官 大下
03-3591-6361(内線6501)
03-3591-9736/03-3591-9566(夜間直通・土日・休日)

★安全運航のポイント

1人乗りの漁船から、船長が海に落ち、行方不明となる事故が発生しています。

1人乗り漁船に関わらず、すべての小型船舶乗船者の救命胴衣着用は義務となっておりますので、海に出る際は、必ず救命胴衣を着用するとともに、操業中の海中転落に十分注意しましょう。

乗船中は、携帯電話を防水パックに入れ携帯するなど、常に連絡手段を確保し、定期連絡を行うよう努めましょう。

「操業中の海中転落に注意」

http://www6.kaiho.mlit.go.jp/info/keihatsu/20170623_hitorinori.pdf

(速報情報)

(平成30年7月27日14時発表)

主な船舶海難(7月26日)

海上保安庁交通部安全対策課

番号	海難発生日時		海難発生場所	船舶種類	国籍	長さ(m)	トン数(t)	概要	乗船者数	死者・行方不明者数
1	7月26日	06:12頃	北海道納沙布岬南東沖	漁船	韓国	—	538	漂泊中の漁船と航行中の漁船の衝突	38	3
				漁船	韓国	—	調査中		調査中	調査中
2	7月26日	07:56頃	広島県呉市沖	フェリー	日本	—	699	航行中のフェリーと航行中の貨物船の衝突	49	0
				貨物船	日本	—	489		4	0

※速報情報のため、今後の調査により内容が変わる場合があります。

※死者・行方不明者は、船舶海難によって発生した人数です。

※調査中の事項は「—」で表示しています。

問合せ先:安全対策課 首席海難調査官 大下
03-3591-6361(内線6501)
03-3591-9736/03-3591-9566(夜間直通・土日・休日)

★安全運航のポイント

航行中のフェリーと貨物船の衝突事故が発生しています。

衝突事故の原因の多くは、「見張り不十分」によるものです。事故を防止するため、常に周囲への「適切な見張り」を徹底しましょう。

気象庁によると、台風12号接近に伴い、小笠原諸島では、27日昼過ぎから猛烈な風が吹き、海上は、うねりを伴い大しけとなる見込みです。

東日本太平洋側も、28日には風が強まり、海上はしけとなる見込みです。

海上保安庁では、インターネット等により、日本沿岸の灯台等の航路標識で観測した気象情報(風向・風速・波高など)を30分ごとに更新し、「海の安全情報」で提供しています。最新の気象・海象の入手にお役立てください。

「衝突・乗揚事故に注意」

https://www6.kaiho.mlit.go.jp/info/keihatsu/20180705_syoutotunoriage.pdf

(速報情報)

(平成30年7月26日15時発表)

主な船舶海難(7月25～26日)

海上保安庁交通部安全対策課

番号	海難発生日時		海難発生場所	船舶種類	国籍	長さ(m)	トン数(t)	概要	乗船者数	死者・行方不明者数
1	7月25日	07:30頃	北海道厚岸湾内	漁船	日本	—	1.5	漁船同士の衝突(詳細調査中)	2	0
				漁船	日本	—	1.7		2	0
2	7月26日	02:09頃 (情報入手時刻)	北海道神威岬沖	漁船	日本	17.5	19.6	操業中の機関故障による運航不能	2	0
3	7月25日	22:15頃 (情報入手時刻)	鹿児島県阿久根市沖	遊漁船	日本	11.6	—	航行中の機関故障による運航不能	6	0

※速報情報のため、今後の調査により内容が変わる場合があります。

※死者・行方不明者は、船舶海難によって発生した人数です。

※調査中の事項は「—」で表示しています。

問合せ先:安全対策課 首席海難調査官 大下

03-3591-6361(内線6501)

03-3591-9736/03-3591-9566(夜間直通・土日・休日)

★安全運航のポイント

漁船同士の衝突事故が発生しています。

衝突事故の原因の多くは、「見張り不十分」によるものです。事故を防止するため、常に周囲への「適切な見張り」を徹底しましょう。

気象庁によると、台風12号の影響で、東日本太平洋側では非常に強い風が吹き、海は大しけとなる見込みです。

海上保安庁では、インターネット等により、日本沿岸の灯台等の航路標識で観測した気象情報(風向・風速・波高など)を30分ごとに更新し、

「海の安全情報」として提供しています。最新の気象・海象の入手にお役立てください。

「衝突・乗揚事故に注意」

https://www6.kaiho.mlit.go.jp/info/keihatsu/20180705_syoutotunoriage.pdf

「海の安全情報」(スマートフォン用サイト)

<https://www6.kaiho.mlit.go.jp/sp/index.html>

(速報情報)

(平成30年7月25日16時発表)

主な船舶海難(7月24日)

海上保安庁交通部安全対策課

番号	海難発生日時		海難発生場所	船舶種類	国籍	長さ(m)	トン数(t)	概要	乗船者数	死者・行方不明者数
1	7月24日	05:54頃 (情報入手時刻)	神奈川県横浜市沖	台船	日本	50.5	—	入港中の浅瀬への乗揚	4	0
2	7月24日	13:54頃 (情報入手時刻)	北海道釧路市沖	プレジャーボート	日本	6.79	—	釣り中の機関故障による運航不能	2	0

※速報情報のため、今後の調査により内容が変わる場合があります。
※死者・行方不明者は、船舶海難によって発生した人数です。
※調査中の事項は「—」で表示しています。

問合せ先:安全対策課 首席海難調査官 大下
03-3591-6361(内線6501)
03-3591-9736/03-3591-9566(夜間直通・土日・休日)

★安全運航のポイント

台船の乗揚事故が発生しています。
乗揚げ事故の原因の多くは、「見張り不十分」や「水路調査不十分」によるものです。
事故を防止するため、発航前には「事前の水路調査」を実施するとともに、航行中は「常時適切な見張り」を徹底しましょう。

「衝突・乗揚事故に注意」

https://www6.kaiho.mlit.go.jp/info/keihatsu/20180705_syoutotunoriage.pdf

(速報情報)

(平成30年7月24日15時発表)

主な船舶海難(7月23日)

海上保安庁交通部安全対策課

番号	海難発生日時		海難発生場所	船舶種類	国籍	長さ(m)	トン数(t)	概要	乗船者数	死者・行方不明者数
1	7月23日	00:30頃	熊本県天草市沖	漁船	日本	15.74	16	錨泊中の漁船と航行中の漁船の衝突	5	0
				漁船	日本	14.98	10		1	0
2	7月23日	13:15頃	京都府伊根町沖	プレジャーボート	日本	約4	—	機関故障による運航不能	3	0
3	7月23日	15:40頃	青森県むつ市 大平漁港内	プレジャーボート	日本	8.45	—	航行中の火災	3	0

※速報情報のため、今後の調査により内容が変わる場合があります。

※死者・行方不明者は、船舶海難によって発生した人数です。

※調査中の事項は「—」で表示しています。

問合せ先:安全対策課 首席海難調査官 大下

03-3591-6361(内線6501)

03-3591-9736/03-3591-9566(夜間直通・土日・休日)

★安全運航のポイント

漁船同士の衝突事故が発生しています。

衝突事故の原因の多くは、「見張り不十分」によるものです。事故を防止するため、常に周囲への「適切な見張り」を徹底しましょう。

「衝突・乗揚事故に注意」

https://www6.kaiho.mlit.go.jp/info/keihatsu/20180705_syoutotunoriage.pdf

(速報情報)

(平成30年7月23日18時発表)

主な船舶海難(7月20～22日)

海上保安庁交通部安全対策課

番号	海難発生日時		海難発生場所	船舶種類	国籍	長さ (m)	トン数 (t)	概要	乗船 者数	死者・行方不 明者数
1	7月20日	10:09頃	長崎県五島市沖	漁船	日本	14	約8	航行中の岩場 への乗揚	2	0
2	7月20日	10:15頃 (情報入手時刻)	長崎県佐世保港内	プレジャーボート	日本	5.58	-	航行中の機関 故障による運 航不能	1	0
3	7月21日	11:50頃	長崎県平戸市沖	プレジャーボート (ヨット)	日本	9.82	8.5	航行中の岩場 への乗揚	1	0
4	7月22日	10:00頃	三重県鳥羽市沖	プレジャーボート	日本	6.86	-	バッテリー過 放電による運 航不能	2	0
5	7月22日	10:05頃	千葉県鋸南町沖	水上オートバイ	日本	2.45	-	航行中の水上 オートバイ同 士の衝突	2	0
				水上オートバイ	日本	2.85	-		3	0
6	7月22日	11:00頃	秋田県雄物川沖	プレジャーボート (ヨット)	日本	8.71	4	航行中の機関 故障による運 航不能	2	0
7	7月22日	13:30頃	福井県敦賀市沖	プレジャーボート	日本	6.56	-	航行中の浅瀬 への乗揚	2	0
8	7月22日	13:52頃 (情報入手時刻)	兵庫県洲本市沖	水上オートバイ	日本	2.85	0.1	航行中の防波 堤への衝突	1	1

番号	海難発生日時		海難発生場所	船舶種類	国籍	長さ (m)	トン数 (t)	概要	乗船 者数	死者・行方不 明者数
9	7月22日	15:00頃	広島県廿日市沖	水上オートバイ	日本	—	—	バナナボート曳 航中のロープの 吸い込みによる 運航不能	2	0

※速報情報のため、今後の調査により内容が変わる場合があります。
 ※死者・行方不明者は、船舶海難によって発生した人数です。
 ※調査中の事項は「—」で表示しています。

問合せ先: 安全対策課 首席海難調査官 大下
 03-3591-6361(内線6501)
 03-3591-9736/03-3591-9566(夜間直通・土日・休日)

★安全運航のポイント

水上オートバイによる死亡事故が発生しています。
 7月、8月は水上オートバイの事故が増加する傾向にあります。
 海上保安庁では、総合安全情報サイト「ウォーターセーフティガイド」に、水上オートバイの事故防止に役立つ情報を掲載しています。
 安全に関する知識・技能を身に付けるとともに、必要な装備を準備して楽しみましょう。

総合安全情報サイト
 「ウォーターセーフティガイド」

https://www6.kaiho.mlit.go.jp/info/marinesafety/00_totalsafety.html

水上オートバイを運転する際のルール

https://www6.kaiho.mlit.go.jp/info/keihatsu/20160615_suijyobaiku.pdf

(速報情報)

(平成30年7月20日17時発表)

主な船舶海難(7月19～20日)

海上保安庁交通部安全対策課

番号	海難発生日時		海難発生場所	船舶種類	国籍	長さ(m)	トン数(t)	概要	乗船者数	死者・行方不明者数
1	7月19日	11:42頃 (情報入手時刻)	愛媛県大洲市沖	漁船	日本	-	4.9	乗船者の死亡(熱中症)による旋回	1	1
2	7月19日	12:40頃	鳥取県境港市沖	漁船	日本	-	75	航行中の浅瀬への乗揚	4	0
3	7月20日	02:00頃	茨城県大洗港内	漁船	日本	約12	4.9	航行中の漁船同士の衝突	4	0
				漁船	日本	約7	1.5		1	0

※速報情報のため、今後の調査により内容が変わる場合があります。

※死者・行方不明者は、船舶海難によって発生した人数です。

※調査中の事項は「-」で表示しています。

問合せ先:安全対策課 首席海難調査官 大下
03-3591-6361(内線6501)
03-3591-9736/03-3591-9566(夜間直通・土日・休日)

★安全運航のポイント

1人乗り漁船において、船長が熱中症により死亡する事故が発生しています。

気象庁によると、北日本から西日本にかけて、今後も最高気温が平年よりかなり高くなる日が続きます。

こまめな水分補給や塩分補給をするなど熱中症対策に努めましょう。

「1人乗り漁船での安全運航のために」

http://www6.kaiho.mlit.go.jp/info/keihatsu/20170623_hitorinori.pdf